

三条商工会議所景況調査概況

【令和4年4月～6月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和4年6月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 332 商工会議所が 2,589 企業にヒアリング。回答数 2,063 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 249 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

6月の全産業合計の業況DIは、▲20.3（前月比+0.1ポイント）

新型コロナウイルスの沈静化と需要喚起策により飲食・宿泊関連のサービス業で業況が改善、住宅関連の民間工事が堅調に推移した建設業でも業況が改善した。活動制限の緩和から3ヶ月が経過し、日常生活への回復が見られる一方、資源・資材価格の高騰継続や資材供給の乱れ、円安による輸入物価の上昇等により、小売業では業況が横ばいに留まり、製造業や卸売業では業況が悪化に転じた。業種を問わず、コスト増が続いていることに加え、それに見合うだけの価格転嫁は依然として行われていない。中小企業の景況感は、コスト増が重荷となり、ほぼ横ばいとなった。

先行き見通しDIは、▲20.8（今月比▲0.5ポイント）

需要喚起策の拡大や水際対策の緩和に伴う外国人観光客の受け入れ再開で、売上回復への期待感が高まる一方、物価高による消費マインドの低下を危惧する声サービス業や小売業で多く聞かれた。円安の急伸や資源・資材価格の高騰によって増加したコストに対する価格転嫁の遅れや、資材供給の乱れなど中小企業の収益回復の足かせ要因は多く、先行きも、物価高の長期化懸念から、厳しい見方が続く。

全国の6月産業別業況

【建設業】

「建設資材・燃料価格の上昇によるコスト増や設備機器の納期遅れ欠品が続いているものの、前年度と比較すると住宅建設の案件が増えており、売上は回復基調にある」（一般工事業）、「受注数増加が見込まれており、建築資材の価格上昇が落ち着けば、売上・採算ともに改善が期待される」（建築工事業）

【製造業】

「新型コロナウイルスの影響はそれほど受けずに今まで営業を行っていた。しかし、資源や資材等の価格高騰の継続が、大きなダメージになっている。増加したコスト分全てを販売価格へ転嫁はできず、採算悪化が続いている。」（食料品製造業）、「国際的な物流の混乱や資源・資材価格の高騰は新たな経営課題であり、業績を圧迫している」（民生用電気機械製造業）

【卸売業】

「物価上昇や円安の急伸など、コロナとは別のリスクが新たに発生。増加したコストを販売価格へ100%転嫁できず、価格転嫁対応が急務である」（建築材料卸売業）、「包装資材の価格高騰が続いている。原材料価格も徐々に上がってきており、値上げせざるを得ない状況に追い込まれている」（食料・飲料卸売業）

【小売業】

「行動制限の緩和で人の動きも増えてきており、客足は増加傾向にある。一方で、仕入れ単価や光熱費の上昇が収益圧迫の要因になっている」（百貨店）、「イベントや展示会が再開されているため、積極的に出店し、売上改善に努めている。今後は物価高の影響で、消費者の購買意欲が低下していくことを危惧している」（文具小売業）

【サービス業】

「新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いているため、旅行の申し込み数は増加が続いている。今後は需要喚起策の拡大も見込まれているため、業況がさらに改善することが期待される」（旅行業）、「光熱費や食材等の価格上昇の影響はあるが、観光需要は戻りつつあり、宿泊客も堅調に推移している。インバウンド需要にも期待している」（宿泊業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 3 年度第 1 四半期(R3 年 4~6 月)比(以後 前年同期比という)では▲11 (前期差 12 ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲16 (前期差 6 ポイント増)、製造業が▲2 (前期差 2 ポイント増)、卸売業が▲22 (前期差 7 ポイント増)、小売業が▲39 (前期差 5 ポイント増)、サービス業が+7 (前期差 50 ポイント増)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業とも DI 値は回復で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲16 (前期差 6 ポイント増)、採算 DI は▲20 (前期差 17 ポイント増)、売上額 DI は▲23 (前期差 10 ポイント増)、従業員 DI は▲10 (前期差 14 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は増加したが、従業員 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲2 (前期差 2 ポイント増)、採算 DI は▲17 (前期差 6 ポイント増)、売上額 DI は+7 (前期差 12 ポイント増)、従業員 DI は+10 (前期差 14 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも増加で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲22 (前期差 7 ポイント増)、採算 DI は▲12 (前期差 12 ポイント増)、売上額 DI は▲16 (前期差 2 ポイント増)、従業員 DI は±0 (前期差 6 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも増加で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲39 (前期差 5 ポイント増)、採算 DI は▲45 (前期差 5 ポイント増)、売上額 DI は▲32 (前期差 22 ポイント増)、従業員 DI は▲7 (前期差 11 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は増加したが、従業員 DI は減少で推移した。

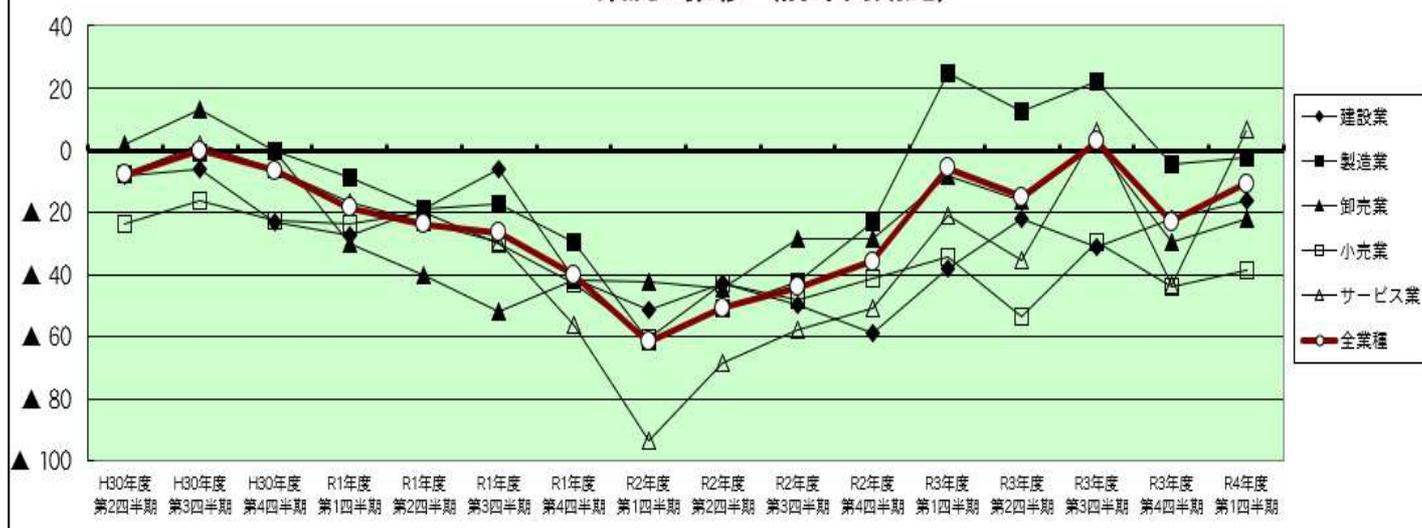
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は+7 (前期差 50 ポイント増)、採算 DI は+9 (前期差 62 ポイント増)、売上額 DI は+18 (前期差 69 ポイント増)、従業員 DI は▲7 (前期差 10 ポイント増)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも増加で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H30 年度			R1 年度				R2 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 8	0	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40	▲ 62
建設業	▲ 8	▲ 6	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41	▲ 52
製造業	▲ 8	▲ 1	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29	▲ 61
卸売業	2	13	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42	▲ 42
小売業	▲ 24	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43	▲ 61
サービス業	▲ 8	2	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56	▲ 93
	R2 年度			R3 年度				R4 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11
建設業	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16
製造業	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2
卸売業	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22
小売業	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39
サービス業	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7

業況DI推移 (前年同期比)

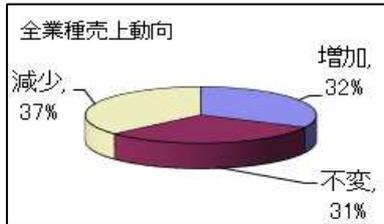


令和4年度 第1四半期(2022年4月～6月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

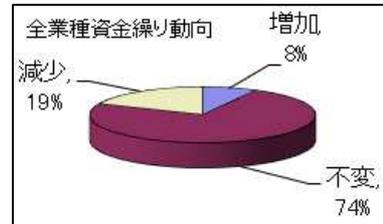
業種別売上動向 (前年同期比)

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	80	77	91
	%	32%	31%	37%
建設業	件数	6	11	13
	%	20%	37%	43%
製造業	件数	34	30	28
	%	37%	33%	30%
卸売業	件数	14	14	22
	%	28%	28%	44%
小売業	件数	5	11	15
	%	16%	35%	48%
サービス業	件数	21	11	13
	%	47%	24%	29%



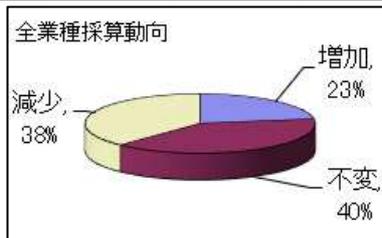
業種別資金繰り動向 (前年同期比)

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	19	179	45
	%	8%	74%	19%
建設業	件数	2	25	4
	%	6%	81%	13%
製造業	件数	9	69	12
	%	10%	77%	13%
卸売業	件数	2	40	7
	%	4%	82%	14%
小売業	件数	1	15	15
	%	3%	48%	48%
サービス業	件数	5	30	7
	%	12%	71%	17%



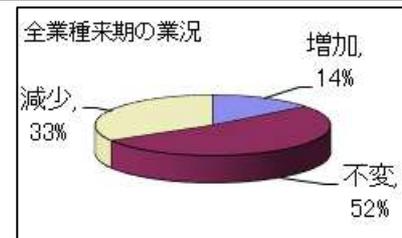
業種別採算動向 (前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	56	98	94
	%	23%	40%	38%
建設業	件数	5	14	11
	%	17%	47%	37%
製造業	件数	20	36	36
	%	22%	39%	39%
卸売業	件数	10	24	16
	%	20%	48%	32%
小売業	件数	3	11	17
	%	10%	35%	55%
サービス業	件数	18	13	14
	%	40%	29%	31%



業種別来期(2022.7～9月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	30	109	70
	%	14%	52%	33%
建設業	件数	2	17	7
	%	8%	65%	27%
製造業	件数	10	48	21
	%	13%	61%	27%
卸売業	件数	3	16	23
	%	7%	38%	55%
小売業	件数	4	12	7
	%	17%	52%	30%
サービス業	件数	11	16	12
	%	28%	41%	31%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>